

カタリナ

学報

第29号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2012. 12. 1



第2バチカン公会議後50周年と建学の精神のこれから

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



カトリック大学憲章は、その冒頭で「カトリック大学は教会の心臓部から生まれたものである」と語っている。聖カタリナ学園の草創期は20世紀当初教会から派遣されたドミニコ会宣教師によってこの伊予の地に種蒔かれ、聖ドミニコ会の生んだ偉大な聖カタリナの精神によって成長し現在に至っている。

カトリック教会は2000年に及ぶ歴史の中で、画期的な公会議といわれた第1バチカン公会議が1962年に開催されてから今年で50周年を迎える。教会が現代世界においてどのような存在であるかを改めて問うために、現教皇ベネディクト16世は2012年10月11日から2013年11月24日までを「信仰年」とすることを告示した。これを機に、本学園の教育理念も今一度建学の精神の原点に立ち帰り、現代世界において本学園が果たすべき使命について再考する必要があると考える。

公会議文書「キリスト教的教育の宣言」の中で「真の教育目的は、人間の究極目的のため、また、成人したときに自分が一員となり、その使命達成に協力しなければならない共同体の福祉のために人格を形成することである」と述べている。ここでいう「人間の究極の目的」とは神の似姿として創られた人間の

尊厳にふさわしく、信仰と理性が手を携え普遍的ヒューマニズムを構築することを意味している。

1869年に開催された第1バチカン公会議から次の公会議までの間に世界は劇的な変動を遂げていた。教皇ヨハネ23世が第2バチカン公会議の開催を決定したのは、まさに教会がその時代の要請にいかに応えるべきかの緊急課題に直面していたためであった。その後を継承した教皇パウロ6世が、教会は「最も貧しい人の側に立つ」という決議を採択して1965年に閉会したのである。

20世紀という激動の時代に教会は世界の動勢に對して教義の遵守と伝統的な組織構造のうちに閉ざされて、近代社会を支え導く自由・平等の論理や実証主義や資本主義的価値観が信仰を脅かすものとして警戒し、社会の現実から遊離していたといえる。そのため、特に第1次・第2次世界大戦勃発に際し偏狭なナショナリズムと民族優勢政策による多民族の殺戮に対して教会が敢然と立ち上がり、人類の正義と平和のために和解や説得のためのリーダーシップをとれなかったことを謝罪したのである。

バチカン公会議で決定された公会議文書の趣旨と改革方針を受けて、ローマに本部を置く聖ドミニ

コ宣教修道女会は1969年にスペインのパレンシアで臨時特別総会議を開催し、公会議にて決定された修道生活の刷新と適応に関する課題を検討した。その中で、本会は当初から極東における宣教活動を目的とする修道会として創立された経緯もあり、世界の不均衡によって生まれた貧困や差別に苦しむ宣教地における新たな挑戦の必要性が伝達された。特に本会の有する教育・福祉・病院等の事業所において、修道生活の根本的な指針となる会憲の見直しと事業所の管理運営に関しては、その所在する統治国の憲法、教育基本法及び私学法、社会法規、定款、労働基準法を遵守し、社会正義と平和を堅持する方針に基づき改善されるべき指示が出され、本部から総長視察も行われた。

このような歴史的経過を経て、本学は日本における聖ドミニコ会の唯一の大学を設立して25周年、短期大学部は47周年を迎えようとしている。今後、キリスト教的世界観に基づく学術的な研鑽と発展途上国の教育的課題への取り組み、地域社会の問題解決の中核となるようなカトリック大学と研究拠点として存在するために早急な中長期計画を策定する必要があるのではないか。

本学の建学の精神の冒頭に掲げられている、「世界平和と人類の共通善を促進する人間教育」の意味を現実的なあり方で学生達が理解できるように指導しなければならないと思う。それは人間がすでにその存在のはじめから、神との対話に招かれている者であり、兄弟としての対話は相互の人格的な交流によって生まれる社会的行為であり、人類の共通善への貢献と連帶は世界平和に不可欠であることを学ばなければならぬ。神が人間を個別に生活するためではなく、社会を構成する共同体として創造さ

れたのは、まさに「キリスト自身が歴史の中の人間連帶性に参加することを望まれたからである。」(現代世界憲章32)従って、世界の貧困と飢餓対策、人権問題、第三世界の国々への無償借款としての援助、被災した国々への支援などは実は私達の義務なのである。なぜならその多くの原因は富める国の繁栄によってもたらされたものだからである。

教会が今年を「信仰年」として位置づけたことによって示された「愛の実践を伴う信仰」によってこそ、本学の愛と真理の建学の精神はより実践的でより普遍的な意味を持つものとして学生達の認識と行動の新たな基準となり、彼らの生活全体を転換する機会になると思う。公会議におけるキリスト教的教育に関する公文書に、大学は「進歩する時代の新しい問題と研究成果を慎重に考慮し、ドミニコ会教会博士、聖トマス・アクイナスの例にならって、信仰と理性がどのようにして唯一の真理に合致するかをより深く理解するために配慮しなければならない」とある。

本学園の建学の精神は第2バチカン公会議の刷新と適応の靈性と教会の「信仰年」の歩みを共有することによって、本学は世界に広く開かれた普遍的価値観を有し、信仰と理性が決して矛盾するものではなく、キリストの歴史的現存のうちに社会の現実と信仰の現実は同じ神に起源を持っていることを理解することができると思う。



◆◆ St. Catherine News ◆◆

●防災マニュアル(携帯版)を作成

「南海トラフ地震」など様々な地震の発生が危惧されていますが、聖カタリナ大学・短期大学部では、災害から学生・教職員等の生命および身体を保護するため、携帯版の防災マニュアル(火災・地震発生時の対応、災害時の緊急避難場所、傷病者救助法等)を作成し、全ての学生・教職員等に配布しています。

なお、携帯版の防災マニュアルは、本学ホームページで公開しています。

●台湾・私立静修女子高級中学(国際姉妹校)から生徒50名が大学を訪問

7月12日(木)～7月14日(土)に台湾の私立静修女子高級中学(国際姉妹校)から引率者5名・生徒50名が来学されました。いすみ寮で宿泊し、大学の施設見学(図書館、学生食堂、サークル等)、部活動見学(剣道部)、ダンス部のパフォーマンス、大学・短大それぞれの授業体験、体育館でレクリエーションを行い大学の雰囲気を味わいました。

また、琴の演奏、布の草履作り、浴衣の着付け等の異文化体験を行い、日本文化にも触れていただきました。



●ヘルスプロモーションセンター「サークル」を一般開放

聖カタリナ大学では、卒業生をはじめ地域の皆さまの健康の維持・増進のお役に立てるように、8月20日(月)より、ヘルスプロモーションセンター「サークル」を一般開放いたしました。

最新の設備を揃えているトレーニングスタジオでは、マシントレーニング・フリーウエイトトレーニングをはじめ、トレッドミルエルゴメーターなどの有酸素運動が可能です。また、フィットネススタジオではエアロビクスやヨガを行なう事が出来ます。

利用方法等については、本学ホームページをご覧ください。

●保育学科公開講座「リカレントセミナー」

8月22日(水)に第13回聖カタリナ大学短期大学部保育学科公開講座「リカレントセミナー」が開催されました。午前中には、2つの選択講座、午後からは講演があり、卒業生を含むたくさんの方が参加され、業務に必要な新たな知識・技術等を学びました。

この公開講座は、受講料を無料として幼稚園・保育所・施設等に勤務されている方の他、テーマに興味のある方を対象に、毎年開催しており、社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援しています。

●愛媛銀行との「連携協力協定書」の締結について

10月19日(金)、聖カタリナ大学(ホビノ・サンミゲル学長)は、(株)愛媛銀行(本田元広頭取)との間で、地域産業の振興や福祉・教育・文化の発展等に対する貢献を目的とした連携協力協定を締結いたしました。本学を会場とした調印式には、愛媛銀行より本田元広頭取、本学からはホビノ・サンミゲル学長等が出席しました。

本学は、今後も地域に密着した大学として、関係諸団体との連携を図りながら、より一層地域振興に取り組んでまいります。

【連携協力内容】

- (1)地域の活性化及び地域産業の振興に関すること
- (2)福祉・教育・文化の発展及び健康の増進などに関すること
- (3)人材育成に関すること
- (4)産学官連携に関すること
- (5)その他、本協定の目的を達成するために必要な事項



●2012年度大学祭

2012年度大学祭「poco a poco ～小さな一歩～」が10月26日(金)から28日(日)にかけて開催されました。

大学祭では、学内ミサを皮切りに、講演会(井坂彰氏)、ステージショー(サークル発表)、パイプオルガン演奏会、人間文化研究所公開セミナーも同時に開催され、また学内外から多数の模擬店の出店があり、様々な物品や食品等が販売され、地域の方や卒業生などたくさんの方にご来場いただきました。

多数のご来場、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

●まつやまシニアカレッジ

聖カタリナ大学と松山市社会福祉協議会は、共同企画プロジェクトとして「まつやまシニアカレッジ」を開講しています。

この講座は、大学での講義や学生生活に興味のある高齢者の方々を対象に、福祉分野の他、幅広いカリキュラムを作成し、より豊かな知識の習得と介護予防のきっかけづくりを目的としています。今年度は5月18日(金)から11月30日(金)まで10回の講義が行われました。



◆◇ 平成 24 年度前期行事 (H24.4.1 ~ H24.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
4	1	日		前学期開始
				評議員会・理事会
2	月	大		教授会・選考教授会・国際交流委員会
				人間社会学科会議
				教授会・保育学科会議
3	火	火		入学式
				新任教員研修
				社会福祉実習担当者会議
4	水			オリエンテーション(～4/5)
5	木	大		教職課程委員会
6	金			前学期授業開始
				将来計画委員会
10	火			就職委員会・S D委員会
11	水	大		社会福祉学科会議・人間社会学科会議
				キリスト教研究所所員会
13	金	大		健康福祉マネジメント学科会議・選考教授会
				保育学科会議
14	土	短		カタリナキャンプ
16	月			ボランティアセンター運営委員会
17	火			教育充実ワーキングチーム会議
18	水			人間文化研究所所員会
20	金			将来計画委員会・入試・募集委員会
21	土			理事会
				介護技術講習指導者講習会(～4/22)
24	火			図書館委員会
25	水			教職員健康診断・国際交流委員会
				人間社会学科会議
27	金	大		学生生活委員会
28	土	大		カタリナキャンプ(～4/29)
29	日			学園創立記念日
5	2	水		人事委員会
				社会福祉士国試対策講座[4回生]
				会計監査(～5/11)
				教務委員会・広報委員会
9	水			教務委員会・大学部会
				教授会
				教授会
12	土	大		社会福祉士国試対策講座[4回生](～5/13)
16	水			母をたたえる日
				キリスト教研究所所員会
				学生生活委員会
17	木			ボランティアセンター運営委員会
18	金			まつやまシニアカレッジ
				保育学科会議
19	土	大		社会福祉士国試対策講座[4回生](～5/20)
21	月			課外活動協議会・S D委員会
				大学説明会(新居浜)
22	火			就職委員会・大学部会・教職課程委員会
				大学説明会(高知)

月	日	曜	区	行 事
5	24	木		大学説明会(本学)
	25	金	大	学部年間計画協議会
	26	土		理事会・評議会
		大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
	28	月	大	教育実習[社4・マネ4](～6/8)
		短		幼稚園教育実習[保2](～6/8)
	29	火		大学説明会(宇和島)
	30	水		大学説明会(八幡浜)
		大		防災訓練・人間文化研究所編集委員会
		木		教務委員会・大学部会
	31	木		大学説明会(中村)
6	1	金		まつやまシニアカレッジ
	2	土	大	社会福祉士国試対策講座[4回生](～6/3)
		大		介護実習報告会
	5	火		人間文化研究所編集委員会
	6	水		合同F D委員会
	7	木		大学訪問(北条高等学校2年生)
	8	金		将来計画委員会
		大		教授会
		短		教授会
	9	土		後援会役員会
		大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
	12	火		ボランティアセンター運営委員会
		大		人間社会学科会議
	13	水	大	人事委員会
7	14	木	大	精神保健福祉援助実習[社4](～7/4)
	15	金		まつやまシニアカレッジ
				国際交流委員会
	19	火		大学訪問(聖カタリナ女子高等学校1年生)
	20	水		S D委員会
		大		社会福祉学科会議
	22	金	短	保育学科会議
	23	土		オープンキャンパス①
				介護技術講習会(～6/24)
	26	火	大	入試・募集委員会・部会
7	27	水	大	大学評議会
	28	木		将来計画委員会
	29	金		まつやまシニアカレッジ
				人間文化研究所フォーラム・広報委員会
	30	土		評議員会・理事会・介護技術講習会
	1	日		介護技術講習会
	3	火		社会福祉援助技術現場実習連絡協議会
	5	木		人間文化研究所編集委員会
	6	金		四国インカレ(～7/8)
		大		教授会
		短		教授会
	7	土		ボランティアウイーク一般公開日・ぼけっとまつり
	9	月	大	大学評議会
	11	水		高大連携ワーキングチーム会議

月	日	曜	区	行 事
7	12	木	大学訪問(台湾・静修女子高級中学) (~7/14)	大学訪問(台湾・静修女子高級中学) (~7/14)
	13	金		まつやまシニアカレッジ
				愛媛県私立短期大学協会協議会
				学内福祉就職相談会
	14	土		オープンキャンパス②
	15	日		社会福祉士国試対策講座[4回生]
	16	月		保育学科会議
	17	火		図書館委員会
		短		保育実習Ⅱ・Ⅲ[保2] (~7/28)
	18	水		S D委員会、奨学制度運営委員会
	20	金	ボランティアセンター運営委員会 選考教授会、人事委員会	ボランティアセンター運営委員会
		大		選考教授会、人事委員会
	21	土	社会福祉士国試対策講座[4回生] (~7/22)	社会福祉士国試対策講座[4回生] (~7/22)
	26	木		前学期試験 (~8/1)
	27	金	人間文化研究所フォーラム 理事会	人間文化研究所フォーラム
	28	土		理事会
8	1	水	夏季休業 (~9/24) S D委員会 将来計画委員会 教授会 教授会、人事教授会 オープンキャンパス③ 人間文化研究所編集委員会 介護福祉実習[介2] (~8/31) 聖ドミニコの日 社会福祉援助技術現場実習[社マス3、介4、編4] (~9/7) 精神保健福祉援助実習[社4] (~9/4)	夏季休業 (~9/24)
				S D委員会
	2	木		将来計画委員会
	3	金		教授会 教授会、人事教授会
	5	日		オープンキャンパス③
	6	月		人間文化研究所編集委員会 介護福祉実習[介2] (~8/31)
	8	水		聖ドミニコの日 社会福祉援助技術現場実習[社マス3、介4、編4] (~9/7) 精神保健福祉援助実習[社4] (~9/4)

月	日	曜	区	行 事
8	9	木	大	介護福祉実習[介3] (~9/5)
	17	金	S D委員会 保育学科公開講座リカレントセミナー 学生生活委員会	S D委員会
	22	水		保育学科公開講座リカレントセミナー
	24	金		学生生活委員会
			大	A O入試面接
			短	A O入試面接、入試・募集委員会部会
	27	月	奨学制度運営委員会 事務職員研修 介護技術講習会 (~9/1)	奨学制度運営委員会
	30	木		事務職員研修
	31	金		介護技術講習会 (~9/1)
9	7	金	介護技術講習会 (~9/8) 社会福祉士国試対策講座[4回生] (~9/9) 社会福祉士国試対策講座[4回生] オープンキャンパス④ 奨学制度運営委員会 前学期終了 教務委員会大学部会 後学期開始、後学期履修ガイダンス 教職課程委員会 保育学科会議 後学期授業開始 前学期末卒業式 人事委員会 教授会 教授会 理事会	介護技術講習会 (~9/8)
	8	土		社会福祉士国試対策講座[4回生] (~9/9)
	15	土		社会福祉士国試対策講座[4回生]
	17	月		オープンキャンパス④
	18	火		奨学制度運営委員会
	20	木		前学期終了
		大		教務委員会大学部会
	21	金		後学期開始、後学期履修ガイダンス
		大		教職課程委員会
		短		保育学科会議
	24	月		後学期授業開始
	25	火		前学期末卒業式
	26	水		人事委員会
	28	金		教授会 教授会
		土		理事会

◆◇人 事 ◇◆

《平成24年7月31日付け》

【退職】

会計課

用務員(非) 山根 憲治

《平成24年8月31日付け》

【退職】

総務課

技術職員(非)

保育学科カタリナ子育て支援ひろば担当

山下 万由子

《平成24年9月1日付け》

【新規採用】

会計課

用務員(非) 西山 元則

《平成24年10月1日付け》

【新規採用】

就職課

事務職員 井上 尚幸

《平成24年10月31日付け》

【退職】

入試課

事務職員(非) 下井 陽佳

学生支援課(いづみ寮)

事務職員(非) 大西 理絵

《平成24年11月1日付け》

【新規採用】

入試課

事務職員(非) 品部 真佑

《平成24年11月6日付け》

【新規採用】

学生支援課(いづみ寮)

事務職員(非) 吉田 裕美

◆◇ 平成 24 年度教授会議題 (前期) ◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H24. 4. 2 第1回

1. 平成25年度聖カタリナ大学入試概要について
2. 退学について
3. 休学について
4. 復学について
5. 除籍について
6. 聴講生の受入れについて
7. 研究生の受入れについて

H24. 5. 11 第2回

1. 退学について
2. 復学について
3. 除籍について
4. 聖カタリナ大学編入学に関する規程の一部改正について
5. 編入学の既修得単位認定基準の一部改正について

H24. 6. 8 第3回

1. 福祉マネジメント専攻の定員の変更について
2. 退学について

H24. 7. 6 第4回

1. 科目等履修生の受入れについて

H24. 8. 3 第5回

1. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について
2. 退学について

H24. 9. 28 第6回

1. 前学期末卒業者の認定について
2. 休学について
3. 退学について
4. 除籍について
5. 聴講生の受入れについて
6. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H24. 4. 2 第1回

1. 平成25年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要について
2. 休学について
3. 除籍について
4. 科目等履修生の受入れについて

H24. 5. 11 第2回

1. 休学について
2. 復学について

H24. 6. 8 第3回

※報告・連絡事項のみ

H24. 7. 6 第4回

1. 学則の一部改正について
2. 授業科目の開設について

H24. 8. 3 第5回

1. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について

H24. 9. 28 第6回

1. 前学期末卒業者の認定について
2. 休学について
3. 復学について
4. 除籍について
5. 科目等履修生の受入れについて
6. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

◆◇ 平成 24 年度 クラブ等 活動状況 ◇◆

H24.10.31 現在

体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	大観	備 考
なぎなた部	4/21・22	強化合宿	福岡大学	2	
	5/3~5/5	強化合宿	愛媛県武道館	4	
	6/15~6/17	平成24年度 四国高等学校選手権大会	愛媛県武道館	5	補助員として参加
	7/1	第67回 国民体育大会なぎなた競技成年女子の部愛媛県予選会	三浦工業株式会社 体育館	4	出場
	7/8	第47回 愛媛県なぎなた選手権大会	愛媛県武道館	5	演技競技：優勝(長澤・石井ペア) 3位(君原・小田ペア)、個人戦：優勝(長澤綾)、3位(小田明日香)
	8/4・5	第51回 全日本学生なぎなた選手権大会	丸亀市民体育館	5	団体競技：ベスト8 個人競技：長澤綾ベスト8
剣道部	4/15	第67回 国民体育大会剣道競技(成年男子・女子の部)候補選手選考会	愛媛県武道館	17	男子：3回戦進出 女子：2回戦進出
	4/30	第4回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会愛媛県大会	愛媛県武道館	9	女子：3回戦進出
	5/20	第59回 中四国学生剣道選手権大会 第44回 中四国女子学生剣道選手権大会	愛媛県武道館	23	男子：松下裕司ベスト16(全日本学生剣道選手権大会出場決定) 女子：谷内麻里絵ベスト8(全日本女子学生剣道選手権大会出場決定)
	5/26・27	第57回 西日本学生剣道大会 第27回 西日本女子学生剣道大会	福岡市民体育館	24	男子：2回戦進出 女子：3回戦進出
	6/10	第28回 香川近県学生剣道大会	香川大学	24	男子Aチーム：優勝、Bチーム：出場、 女子Aチーム：3位、Bチーム：出場
	6/24	第24回 愛媛県女子剣道選手権大会	愛媛県武道館	10	女子個人：西原愛ベスト8
	7/1	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知大学	24	男子：準優勝、女子：3位
	7/7・8	第60回 全日本学生剣道選手権大会 第46回 全日本女子学生剣道選手権大会	日本武道館	21	男子：松下裕司1名出場 女子：谷内麻里絵1名出場
	8/26	第59回 中四国学生剣道優勝大会 第39回 中四国女子学生剣道優勝大会	岡山市総合文化体育館	22	男子：出場、女子：3位(第31回全日本女子剣道優勝大会出場決定)、山畠佳代(女子優秀選手賞)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	人数	備 考
ダンス部	6/25	ダンスステージショー	聖カタリナ大学	26	
	8/11	松山まつり「野球拳おどり」(団体連の部)	松山市内	54	6位、特別賞「南海放送賞」
	10/28	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学		
バドミントン部	7/6~7/8	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知県立春野総合運動公園	3	出場
硬式テニス部	6/16~6/23	平成24年度 春季中四国学生テニス選手権大会予選・本選	広島県	9	男子:久世幸寿シングルス本選出場 女子:出場
	7/6~7/8	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知市総合運動場	12	男子:出場、女子:4位
	8/11~8/14	平成24年度 夏季中四国学生テニス選手権大会予選・本選	広島県	7	男子:久世幸寿シングルス本選出場 女子:出場
	8/28~9/2				
	9/18~9/21	平成24年度 全日本大学対抗テニス王座決定試合中国四国地区大会5部	広島県	12	男子:優勝 女子:出場

体育局(同好会)

男子バスケットボール部	5/12・13	平成24年度 全四国大学バスケットボール新人大会	徳島文理大学・四国大学	13	3位
	6/23・24	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知大学	13	出場
	10/20	第64回 全日本大学バスケットボール選手権大会四国ブロック予選	愛媛大学・松山大学	11	出場
軟式野球同好会	7/6~7/8	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知県内	21	出場

体育局(愛好会)

男子ハンドボール部	5/5~5/9	第51回 中四国学生ハンドボール選手権春季リーグ戦3部	広島県立総合体育館	11	5位
	7/7・8	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知県立大学	11	3位
	8/27~8/31	第51回 中四国学生ハンドボール選手権秋季リーグ戦3部	徳島県	14	準優勝、得点王(早瀬慎太郎)
	10/27・28	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
聖カタリナ大学サッカー部	5/20	平成24年度 サッカー愛媛県中予リーグ4部(オープン参加)	愛媛県内	17	勝利
	7/1	平成24年度 サッカー愛媛県中予リーグ4部(オープン参加)	愛媛県内	17	勝利
	7/7・8	第63回 四国地区大学総合体育大会	高知県立春野総合運動公園	16	出場
	7/15	平成24年度 サッカー愛媛県中予リーグ4部(オープン参加)	愛媛県内	14	勝利
	9/9	平成24年度 サッカー愛媛県中予リーグ4部(オープン参加)	愛媛県内	15	勝利
	10/27・28	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		

文化局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	人数
琴部	10/28	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学	
華道部	10/27・28	大学祭 展示	聖カタリナ大学	
宗教研究部	5/16	学内ミサ「母をたたえる日」	聖カタリナ大学	
	5/25	ミサ&バーベキュー	聖カタリナ大学	
	10/26	学内ミサ「大学祭」	聖カタリナ大学	
フォークソング部	9/19	定期演奏会	聖カタリナ大学	30
	10/27・28	大学祭「ST. CATHERINE ROCK FESTIVAL」	聖カタリナ大学	
May Club	10/27・28	大学祭 ステージショー、バザー	聖カタリナ大学	

文化局(同好会)

シネマサークル	10/27・28	大学祭 映画上映会	聖カタリナ大学	
漫画研究部	10/27・28	大学祭 展示	聖カタリナ大学	

文化局(愛好会)

Mad Clowns	4/6	ステージショー	聖カタリナ大学	7
Mad Clowns	5/12	公演	北条育成園	8

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	人数
Mad Clowns	5/22	公演	アトラス粟井	9
	6/2・3	合宿	レインボーハイランド	12
10/28	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学		
地球村	10/27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
トトロ	10/27・28	大学祭 ステージショー、バザー	聖カタリナ大学	
はっぴーデザイン研究会	5/18	清掃活動	聖カタリナ大学周辺	30
	9/28	清掃活動	聖カタリナ大学周辺	26
Honey's	10/27・28	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	

その他

学生ボランティアセンター	7/2~7	ボランティアウイーク	聖カタリナ大学	
	10/27・28	大学祭 展示・体験	聖カタリナ大学	

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部講師 中村 年男



月日の経つのは早いもので、本学に奉職して7年目になります。本学にお世話になる前は、病院の医療相談室で医療ソーシャルワーカーとして勤めた経験もあります。相談室には、医療費が払えない、生活費がない、病気や障害を抱え職場復帰に不安がある、家族関係がうまくいかないなど、様々な相談が寄せられます。私は救急搬送されてきたホームレスの退院支援や認知症患者の独居生活を支えるためのネットワーク作りなどを行ってきました。

病院退職後は大学院に進学し、岡村重夫先生が構築された「岡村理論」について研究を行ってきました。病院在職中に、「社会福祉とは何か」「ソーシャルワーカーとは何か」と疑問に思ったことがきっかけです。

岡村＝「理論家」というイメージがありますが、現場の人を交えた研究会の実施や福祉施設にも足しげく通い、理論の根幹である「主体的側面の援助」(利用者の立場に立った援助)について熱く議論するなど、現場の実践にも強い関心を持っていました。これは、「大阪ソーシャルワーカー協会二十五年史」(大阪ソーシャルワーカー協会1986)の中で、ある筆者が、「当時開催されていた事例研究会で最も深い関心を示していたのは岡村であり、実務経験の豊富な方であるに違いないと思い込んでいた」との記述からも窺い知ることができます。岡村は晩年、自らの理論の方法論の検討を若い研究者たちに託しましたが、そのヒントとして、「援助関係」「コミュニケーション」の2つのキーワードを挙げています。私は後者に着目し、主体的側面の援助が如何にして

可能になるのか検討を進めています。

また、現在は「医療ソーシャルワーカーの専門性」についても関心を持っています。病院を訪れる患者の中には病気だけではなく、医療費や生活費などの生活上の問題を抱えた人もいます。病院は病気を治すことが最大の使命ですが、病気が治ったからといって、高額な医療費負担により生活が困窮しては喜びも半減です。患者の病気を治療するのが医師だとしたら、生活上の問題の解決を図るのが医療ソーシャルワーカーです。両者(医療職と福祉職)が共働することで質の高い医療サービスの提供が可能になると考えています。そういう意味でも医療ソーシャルワーカーは必要な存在であるといえますが、医療と社会福祉の関係や医療ソーシャルワーカーの固有性に関する研究はまだまだ十分とはいえない。岡村は「社会福祉学(各論)」(柴田書店1963)の中で、医療と社会事業について述べていますので、それをヒントに検討を進めていきたいと思います。

この7年間、多くの方々の支えにより職務を遂行して参りましたが、その一方で、周囲の環境も大きく変化しました。今後も将来を見据えて頑張っていきたいと思います。



中村ゼミ(3年生)

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp